

Freshers' Leave Year Program

FLY Program

初年次長期自主活動プログラム

5周年活動報告会

—1年間の「寄り道」から大学における「真の学び」へ—

2017(平成29)年

10/30(月) 17:00~
(19:00 終了予定)

東京大学駒場 I キャンパス 数理科学研究科棟大講義室
(京王井の頭線 駒場東大前駅 下車)

入場無料

予約不要

2013年に“東大版ギャップイヤー制度”として始まったFLY Program(初年次長期自主活動プログラム)。様々な経験を積んだ修了生が、その経験を通して過ごす“今”を報告します。



FLY Program とは？

入学直後に自ら申請して1年間の「特別休学期間」を取得のうえ、自らの選択に基づき東京大学以外の場で、ボランティア活動や就業体験活動、国際交流活動などの社会体験活動を行い、自らを成長させることを目的とした自己教育のためのプログラムです。

FLY Program では、活動内容は学生自身が主体的に計画・立案します。

FLY Program はプログラムとはいっても、大学が学習メニューを作って提供するものではなく、学生自身が右記の4つのテーマと自らの関心に沿って活動計画を作成します。複数の活動内容を組み合わせることも一般的です。

1 自主性、独自性

本プログラムの目的及び趣旨に合致した自主性・独自性をもつ活動であるか。

2 長期性、継続性

数か月以上の長期にわたって継続的に行われ、学業の傍らでは経験しにくい態様の活動であるか。

3 社会性、国際性

学生としての日常生活を離れ、従来の意識・価値観を相対化し、自らの在り方を見直すインパクトのある活動であるか。

4 公共性、規範性

「世界的視野を持った市民的エリート」を目指す者のロールモデルとして、公共の福祉の増進、社会貢献に寄与する活動であるか。



どんな1年を過ごすかは、あなた次第です!

活動計画の原案を添えて応募、審査を経て採用が決まると、担当教員のアドバイスを得ながら活動計画をブラッシュアップします。5月の交流会ののち、それぞれの長期自主活動に旅立ちます。特別休学期間中は学費が免除されるほか、一人当たり最大50万円の活動支援金が支給されます。

問い合わせ先

東京大学本部学生支援課 / 東京大学 FLY Program 運営委員会事務局 (教養学部等学生支援課)
E-mail : fly-program.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp URL : http://www.c.u-tokyo.ac.jp/info/academics/zenki/fly/

